



元気アップみのり

2017年(平成29年)
秋の号

発行 NPO 法人元気アップみのり
住所 〒678-0052 兵庫県相生市大島町 3-4
電話 0791-22-1330 Fax 0791-22-1347

神戸やまぶき財団から 電動自転車2台の寄贈が！

5月に神戸やまぶき財団

(註参照)に対し、クロネコDM便の配達用として電動式自転車2台の助成を申請していましたが、このたび審査が通り、購入費用の全額が支給されることになりました。それで早速、ヤマハ製の最新型電動自転車を2台購入しました。同財団には3年前に送迎バスに使っている

【註】神戸やまぶき財団…医療機器メーカーシスメックスや音響機器メーカーTOA創業家の中谷忠子氏からの出捐金により平成24年に設立された公益財団法人で、障害者をはじめ要保護児童、難病の小児患者及びその家族をサポートする施設・団体に対する支援を目的としている。事務所は神戸市の元町にあり、播州信用金庫の理事長でもある和田長平氏が理事長をしている。平成28年度の助成金支給実績は145団体 256,655千円とのこと。(H.P.等より)

ホンダのステップワゴンも助成していただいております。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
DM便配達には現在2人で大島町と旭一〜三丁目を回っていますが、狭い路地や急な坂道にはやはり電動式の自転車が最適です。首を長くして待っていただけに喜びもひとしお。これから一層の奮闘が期待されます。



ピカピカのヤマハPASナチュラルXLが2台！

「ウイズin西はりま」サマー交流会 に参加して… 8月25日(木)

毎年恒例のウイズin西はりま主催のサマー交流会。今年7事業所から41人がテクノのふれあいスポーツ交流館に集まりました。(当作業所からは5人が参加)

午前中はスポーツ交流として3グループに分かれて卓球バレー、フライングデイスク、囲碁ボールをゲーム感覚でプレイ、昼食(お弁当を支給!)のあとは音楽交流会。愛ランド(たつの市)のメンバーによる歌のライブショーがありました。ひとりで路上ライブもされるという職員のピストン平尾さんのギターに合わせ15名のメンバーさんたちによる息の合った歌やダンスは本当に圧巻で会場を大いに盛り上げました。



愛ランド(たつの市)のメンバーによるライブコンサート

(有)衣笠木工所から新しい仕事か！

ウィズin西はりまの紹介で7月から山陽自動車道たつの西インターのそばにある(有)衣笠木工所から新しい仕事をいただくことになりました。

同社は木箱を制作している会社で、そうめんや日本酒等の化粧箱がメインのようです。私たちが今回受けたのは『獺祭』という大吟醸の酒ビンを入れる木箱にバーコードシールを貼る作業です。まずは少しずついいいな作業を心がけて徐々に受注をふやして行けたらと考えています。



ココのバーコードシールを貼る仕事です

特別寄稿

「給食の楽しみ」

毎週火曜日の給食が楽しみです。給食費は250円。栄養士の2人のパートさんがメニューを考えて作って下さいます。最近、印象的だったのは鰻の蒲焼がのったチラシ寿司。土用の丑の日の朝、カワベで急ぎよ購入したとか。鰻は高いのでやりくりも大変でしょうが、心づかいが何とも嬉しい献立でした。野外研修(バーベキュー)の残り物を利用したという焼き鳥丼も美味しかったetc・・・。

ところで私は俳句をガッツリやっていて、17音の制約の中でアイデアを一句にまとめます。みよりの給食も、限られた予算やフードバンクの支援食材をどう活かすかの制約の中で工夫が凝らされます。私の俳句の出来はさておき、みよりの給食は生半可な主婦にはちょっと真似できないだろう多彩なレパートリー、そしてクオリティです。毎週お店のランチなら千円くらいしそなご馳走がテーブルに並び大満足です。他のメンバーも毎回「美味しかったなあ」と口々に言います。ほんと、お得に、お得に感じられるみよりの給食なのでした。

では最後に、これも美味しかった“流しそうめん”で一句！

流しそうめん箸を逃れる二三本

(K.N)

平成29年上期 運営委員会 を開催

9月22日、今年度上期の運営委員会が例年どおり市社会福祉課の横家係長、赤穂保健所の吉野さんをお招きし、利用者代表2人に理事・職員の計11名で開かれました。

まず作業所から「前期の方針とその結果」として、前期決算が赤字だったこと、要因としては昨年夏の“異変”(利用者の長欠・入院等の出来事)が響いたこと、対策として長年続けてきた研修事業の廃止等の措置を行なったことが報告されました。

次に、今年度の総会で掲げた方針として、1月からのクロネコDM便事業、7月からの衣笠木工所の木箱の仕事などの新規事業を育てる、前期できなかった個別支援計画にもとづく利用者フォロー体制の強化をはかる、通所が困難な利用者のために“在宅勤務”の就労形態を実現する、等々の課題について報告がありました。

討議の中では、在宅勤務に関する説明を求める声があり、目下、市の担当者とも具体化するための必要条件について話を詰めている最中で、県内でもパソコンを使ったテレワークのような形態しか前例がなく難しい状況である旨が話されました。一方、利用者の1人からは「7月からDM便配達をしているが、作業所の中で仕事するよりバイクに乗って外を走りまわる方が自分には性に合っている、配達エリアの家々をまわるのは楽しい！」といった元気な声もありました。

後編記集

「特別寄稿」を寄せてくれたKN君は4月に入所した新人です。給食が気に入ったようですが、彼の印象的



だったというチラシ寿司がこれ(左)の写真です。流しそうめんの句は、8月8日にした毎年恒例の“そうめん流し”の際に詠

んだものと思います。こんなに喜んでもらったら給食を作る人たちもやりがいがあるというもの。

冷たい秋雨の日が続いていますが、皆さん体調管理に気をつけてください。(横)